



JAL不当解雇撤回ニュース

No561号 2018.04.04
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.com>

大阪・岡山宣伝行動

全国 31 か所の JAL 争議団の支援組織では、定例の宣伝行動が行われています。春闘でお忙しい 2 月 3 月、大阪では定例の伊丹空港宣伝に加えて空港支店要請が実施されました。又、岡山県に原告がいないにもかかわらず、岡山県労働組合会議を中心に毎月 JR 岡山駅前で宣伝行動が行われています。

JAL は争議解決に踏み出す姿勢を示していませんが、統一要求について検討している状況はうかがえる春闘の交渉状況となっています。「自分の代で解決したい」と植木社長は発言、新年度が始まり赤坂新社長に交代。この時期だからこそ 1 歩踏み出し、JAL の発展のために争議を解決すべきです。

大阪空港支店要請行

団体チェックインロビーにて



2/24 大阪支援共闘は春闘団交をバックアップしようと、乗員組合・キャビンクルーユニオン、そして 4 名の原告と合計 20 名の要請行動が行われました。予め部屋を用意するように申し入れたにもかかわらず、「本社からの指示でできない」とチェックインロビーで手嶋総務部長ふくめ 2 名が対応しました。3 者の代表と 4 原告が要請書を手渡した後、一言ずつ訴えました。その様子をお客様や代理店の社員たちが不可解な顔で遠巻きに眺めていました。空港利用者が行き来する場所での対応に支援者は「なんちゅう会社や、ひどい対応やなあ」とあきれていました。



参加者 25 名 30 分で 1,160 枚配布。その後、プラスターを持ちスタンディング。



3/14 大阪ユニオンネットワーク争議支援行動に参加し、大阪市役所前で内田客乗団長が訴えました。さらに参加者 5 5 名で伊丹空港宣伝、6 名による要請が行われました。対応はこれまで同じ総務部長の手嶋氏とグループ長の角本氏でした。

山下大阪支援共闘副代表

「社長発言について、個人的にはどう思いますか？」

手嶋総務部長

「個人の意見ですが、やはり早く解決してほしいと思っています」

これまで何度も要請してきましたが、このような発言は初めてです。又、他の支援者は、「解雇から JAL を利用していません。又 JAL に乗りたいので、早く解決してください」と訴えました。

要請後、原告との会話の中で手嶋氏は「JAL を利用しなくなったと聞き角本もそうだと思うが、大変ショックでした」と発言。内田団長は「争議団は JAL に乗るなどは言っていない。また、JAL を利用していただくために、早く解決してほしいと大阪空港支店の声として要請内容とともに役員に必ずあげてほしい」と伝えました。手嶋氏は「分かりました」と言い、角本氏は始終メモを取っていました。

3月28日 岡山駅前宣伝行動

第1回目の宣伝は2010年12月22日で、解雇された月でした。
その後、全国キャラバンでも大変お世話になりました。
写真は“JAL”を表現している参加者の皆さんです。



活動報告

春爛漫、さくらは満開です。

JAL 宣伝に7人が参加してくれました。用意した400枚のチラシは30分で無くなるほど反応が良くてビックリです。チラシを広げてみる人が目立ちました。

中には「息子がJALに勤めているが、何かあったのか？」と聞く人もいました。

「JALは安全よりも利益優先の会社になってしまいました。32年前の御巣鷹山の墜落事故を忘れたのでしょうか？パイロットや客室乗務員が足りない状況にも関わらず、被解雇者を職場に戻そうともしません。毎年1,600億円以上も利益を出している会社です。

戻せないはずはありません。戻せば利益も上がるし、厳しい人手不足も緩和できます。一緒に安全第一と声を上げてください」と訴えました。

通行する人たちは黄色いのぼりを眺めながら、「何かあったのか？」と不思議そうでした。もう解雇から7年が経ちましたから当然です。震災と同じでもう忘れられています。月1回の宣伝ですが、記憶を呼び戻す日でありたいと思います。

